



みまっば子育て通信 第10号

幼児の親子ひろば「めばえ」

2023年12月20日
みまさか子育てカレッジ実行委員会 発行
美作大学／美作大学短期大学部
岡山県津山市北園町 50
TEL 0868-22-7718
<https://mimasaka.jp/>

今年度、第3回目の親子ひろば「めばえ」です。0～2歳の子ども達と保護者の方にゆったりと過ごしていただく少人数制のひろばです。感染予防対策を行いながら、地域の子育て広場としての役割を担えるよう、今後も開催を計画しております。どなたでも参加できますので、また是非遊びにいらしてください。

「めばえ」の流れ

12月20日(水)10:00～11:00
(受付は9:30～)

美作大学 多目的ホール(本館2F)

「みんなで育ち合う、子育て」

10:00～10:15 自己紹介・手遊び
10:15～10:45 楽しい玩具コーナーで遊ぼう
10:45～11:00 学生によるお楽しみ

美作大学児童学科の教員2名が常駐し、子ども達の主体的な遊びを見守り、子どもの発達に関する相談に応じます。本学学生が、ボランティアで参加します。

次回「めばえ」開催予定月
2024年2月

場所:美作大学本館多目的ホール
津山市社会福祉協議会様からのメール配信と
本学HPにて日時をお知らせいたします。

はぐくみ

* このコーナーでは大学の教員が、保育の専門的視点から子育てに関するメッセージをお届けします。

全ての赤ちゃんに絵本を、というブックスタート運動があるように、絵本は0歳児から楽しめるものですが、絵本を巡って「ちょっと気を付けるとよいこと」のお話をします。

お誕生日前の子どもにとって、絵本はまず持ったり開いたり、時にはなめたり振り回したりする「もの」です。この時期に子ども自身が手にする絵本は、厚紙のページ、丸い角、なめても大丈夫なつくりなど、丈夫さと安全性が大事です(大人が常に手にもって一緒に見る場合はそれ以外でも大丈夫です)。こういうつくりの本は、ものの絵本や遊び絵本、簡単な物語の絵本などが多いですが、やや複雑な色使いや抽象的な絵の場合、子どもにはまだ分かりにくいことがありますから、よく分かっていないかな?と思ったら、もう少し大きくなってから読んでみることをお勧めします。

1歳を過ぎると、言葉遊びやより複雑な物語など、楽しめる内容が広がります。この時期からは是非「その子ならではの楽しみ方」を一緒に楽しんでいただければと思います。以前、『ロージーのおさんぽ』という絵本を3歳の子どもと読んだ時、その子がすみっこに描かれたカエルにとっても反応していて、なるほどこういうところに目がいくのか、という発見をさせてもらいました。絵本の選び方も、同じ絵本を繰り返し読む子、どんどん違う絵本に手を伸ばす子など、個性があります。子どもから新しい楽しみ方を教えてもらいながら、大人の方にも長く一緒に絵本を楽しんでもらえたらと願っています。

美作大学生活科学部 児童学科 教授 多田昌美

2023年10月24日開催
みまさか子育てカレッジ
親子広場「めばえ」

2023年12月20日
みまさか子育てカレッジ実行委員会 発行
美作大学／美作大学短期大学部
岡山県津山市北園町 50
TEL 0868-22-7718
<https://mimasaka.jp/>



10時～10時45分

学生が乳児の発達や子育て支援の学習内容を活かして保育環境を準備しました。体を動かして遊ぶコーナー・おまごとコーナー・感触遊びのコーナー・構成遊びのコーナーなどで、生後2カ月の赤ちゃんから2歳後半の子どもまでが、親御さんと一緒に自分の好きな遊びをみつけて自由に楽しみました。



10時45分～11時

親子でふれあうわらべうた・リズム遊び・手遊び・ペープサートなどをみんなで楽しみました。赤ちゃんのコミュニケーションの発達のために、目を合わせて声をかけ、優しく体に触れる、抱っこすることを繰り返していけたらと願い、学生が発達に応じた親子遊びを紹介しました。